



河内小だより

〒671-1664

たつの市立河内小学校

たつの市揖保川町金剛山 604

TEL 0791-72-2129

FAX 0791-72-6213

ともに学び合い、心身ともに健康でやさしい河内っ子

河内小学校 HP 【 <https://kochisyo.tatsuno.ed.jp> 】



「白か黒」「0か100」ではなく・・・

「白か黒で答えろ」という 難題を突き付けられ
ぶち当たった壁の前で 僕らはまた迷っている
迷ってるけど 白と黒のその間に
無限の色が広がってる 君に似合う色探して
やさしい名前を付けたなら
ほら一番きれいな色 今君に贈るよ
【 Mr.Children さん「GIFT」より抜粋 】



Mr.Children さんの曲で「GIFT」の中に、素敵な歌詞があります。その曲の歌詞を抜粋したものを紹介させていただきました。2008 年発売の曲で北京オリンピックの NHK 放送テーマソングとして、よく流れてきていました。教師という仕事に就き、子どもたちと過ごしていく中で「この歌詞っていいな。今の教育において大切な視点じゃないかな。」と思うようになりました。「先生、跳び箱がうまくできなかった。」体育の授業が終わるとある子に言われたことがあります。他にも「楽器の演奏が上手にできなかった。」「野球の試合で打てなかった。」「試合でシュートを外してしまった。」「何かの物事を『できた・できない』で判断すること。白か黒か、0か100かの思考です。子どもだけでなく、大人でもそのように考えてしまうことがたくさんあると思います。先ほどの体育の授業の後に話した子ですが、その子は台上前転が『できなかった』という思いをもっていました。しかし、前回の体育の時間と比べると、明らかに踏み切りを強く蹴って、着手していたのです。完璧な台上前転のフォームとは言いませんが、前回の自分より成長していました。そのことを褒めると、次からは自身でスモールステップの目標を決めて、「先生、ここまでできるようになったよ！」と笑顔で報告してくれました。比較の対象を完璧なゴールや周りの友だちから自分に換えることで大きな変化がありました。成長のプロセスをしっかりと受け止め、褒めることがとても大切なことだと感じました。「できるまでやりなさい。」「できるでしょう。」「できなかったのは残念だったね。」といった言葉を大人は使いがちですが、「ここまでできたね。」「昨日より成長できたのが嬉しいよ。」といった言葉を伝えてあげたいですね。「できた・できない」だけでなく、子どもたちの個性に目を向けたときも、こういった考えは大事ではないでしょうか。子どもたちは、一人ひとり違います。それぞれ素敵どころがたくさんあります。それぞれ苦手なところもあります。「GIFT」の歌詞にあるように、その子に似合う色を探して、やさしく認め、声をかけていけるようにしたいですね。



11月の予定

1日(土)～3日(月)

たつの市児童生徒美術展・発明工夫展

1日(土) 幼小中交流ゆめクラブ

2日(日) 資源回収②

3日(月) 文化の日

4日(火) ALT ホームデー 定時退勤日

5日(水) 1年:幼小交流会 ミニ地区児童会

6日(木) 5年:食肉出前講座

3年:マックスバリュ見学

7日(金) 1・2年:リズムジャンプ

10日(月) クラブ活動 口座振替日

11日(火) かけあし開始 ALT ホームデー
定時退勤日

12日(水) 6年:芸術文化鑑賞会
4年:ブラッシング指導

13日(木) マラソン記録会前健康相談(希望者)

14日(金) 安全の日

15日(土) 人権教育実践発表会(半田小)

16日(日) スポーツ21ペタンク大会
(ゆめクラブ参加)

17日(月) 4～6年:ケータイスマホ教室

18日(火) ALT ホームデー 移動図書館
定時退勤日 マラソン試走

19日(水) 2年:読み聞かせ

20日(木) 縦割り活動 口座再振替日
マラソン試走(予備日)

21日(金) 1・2年:リズムジャンプ
6年:人間関係づくりプログラム

23日(日) 勤労感謝の日

24日(月) 振替休日

毎月25日は笑顔の日
ノーゲーム ノースマホデー

25日(火) ALT ホームデー 定時退勤日

27日(木) 1・2年:揖保川図書館読み聞かせ

28日(金) オープンスクール①

29日(土) PTCA 活動支援事業実践発表会
(河内小:紙上発表)



秋は、楽しい活動がいっぱい！

【おもちゃランド：1・2年】



【揖保の郷見学：3年】



【「河内隧道」フィールドワーク：4年】



【皮革工場見学：5年】



9/25(木)・26(金) 6年生：修学旅行 奈良・京都、満喫しました！

奈良・京都への旅、歴史を直に触れ、本物はちがう！迫り来るものがありました。見学・体験活動を通して、学びの深いものとなりました。「まだ、帰りたくない」という声が象徴的でした。

【法隆寺】



【奈良公園の鹿】



【東大寺】



【清水寺】



【音羽の滝】



【京都タワー】



【銀閣寺】



【二条城】



【金閣寺】



【映画村】



☆ 表彰 おめでとう ☆

令和7年10月14日(火) 現在

兵庫県小学生陸上競技交流大会 男女混合4×100m

＊日清食品カップ 第41回全国小学生陸上競技交流大会11/1(土)～3(月・祝)へ出場します。

兵庫県体験発表会 発表 小学生の部

どうせいいぞく 同声異俗

演じることで やり過ぎそう

みなさんきっと、気づいていないだけで、日々楽しいことに出合っていると思うんです。街でネタ探しをして出会った方に「何かおもしろいエピソードありますか？」と聞くと、「私の話なんて」とおっしゃいますが、かなりおもしろい話をお持ちです。もちろん仕事の苦労や苦手な人とかかわらなければいけないとか、大変なこともあると思いますが、人に話して盛り上がる題材が見つかったと考えれば、何とか乗り切れるのではないのでしょうか。最悪な経験を笑いに変えられたら、毎日はおもしろくなります。これは少し難易度が高いかもしれませんが、もっともらしい顔をして「それっぽい人を演じてみる」のはどうですか？僕がファッションデザイナーや演歌歌手など様々な職業の人に扮するシリーズ「クリエイターズ・ファイル」をぜひ参考にしてください(笑)。自分ではない誰かになりきることで乗り越えられることって、あると思うんです。かかわるのがストレスだと思う人がいても、その人の言動をいちいち真に受けて腹を立てていたらきりがありません。調子よく合わせてやり過ぎて、あとでコーヒーでも飲みながら、「別に共感できなかったし」と思っておけばいいんです。

私は、秋山さんの常日頃からの「心の持ちよう」が素敵だなと感じました。現代のストレス社会にあって、同じ出来事でも、受け止め方によって感じ方が変わってきます。日々をよりよく生きるためにも意識していきたいですね。【秋山竜次(ロバート)『PHP No.929 10月号 巻頭インタビュー』参考】